

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜小学校 国語＞

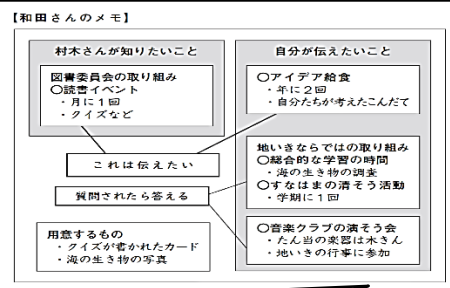
1三 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題 [話すこと・聞くこと]

＜平均正答率 県 56.2% (全国比-7.6)＞

【授業改善のポイント】

調査結果の分析

- ・メモが何について書かれているかを捉えたり、メモに整理した内容とオンライン交流時の発言とを結び付けて、どのように伝えたかを捉えたりすることができなかった児童が、全体の43.8%であった。
- ・目的や意図に応じて、どんな情報を集めるかを明確にしたり、集めた情報を整理したりすることが課題である。



情報を集めて整理したメモを、実際にどのように役立てたかを考える問題

○目的や意図に応じて、情報を集め、集めた材料を分類したり関係付けたりする学習活動を充実させる

- 活動例
- ・自分が伝えたい目的や意図に応じて材料を収集するだけでなく、聞き手が求めている内容を予想し必要な材料を集める機会を意図的に設ける。
 - ・集めた材料を話す目的や意図に応じて内容ごとにまとめる。

○情報を整理することのよさを考える場面の充実を図る

- 活動例
- ・メモに情報を整理する前に伝え合った時の様子と、整理した後に伝え合った時の様子を記録した動画を比較する。その際、伝える側と伝えられる側の両方の視点で、前後の違いについて気付いたことを確かめ合う。

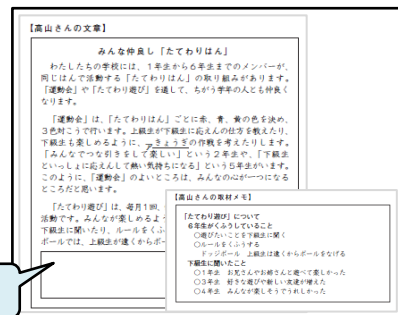
2二 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題 [書くこと]

＜平均正答率 県 57.5% (全国比+0.9)＞

【授業改善のポイント】

調査結果の分析

- ・【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書いているが、「たてわり遊び」のよさについて考えたことは書いていない児童が、全体の33.0%であった。
- ・書く目的や意図に応じて自分の考えを持つことや、事実と感想、意見とを明確に区別することに課題がある。



取材メモをもとに事実と自分の考えを書く問題

○集めた材料を分類したり関連付けたりするなど、情報を整理する場面の充実を図る

- 活動例
- ・取材で集めた材料の共通しているところを探し、丸や四角で囲んだり、語句と語句を線でつないだりして集めた材料相互の関係を整理して、伝えたいことを明確にする。

○事実と感想、意見とを区別して、自分の考えが伝わるように書く学習活動の充実を図る

- 活動例
- ・文末表現に注意して、事実（「～と書いていました。」「～しました。」など）と考え（「～と思います。」「～と考えます。」など）を区別して書き表す。
 - ・お互いに書いた文章を読み、事実にあたる部分と感想や意見にあたる部分とが、それぞれどこかを確かめ合う。